

【協会けんぽ・生活習慣病予防健診の検査項目】

2026/4/1より

		一般 健診	※節目 健診	検査の目的や内容など	
診察等	問診	○	○	自覚症状・家族歴・既往歴・服薬治療中の病気・喫煙の有無など質問をします。	
	計測	身長・体重	○	○	体重が昨年と比べて変化したかに注目しましょう。急な増減は要注意です。
		BMI	○	○	肥満もしくはやせすぎかどうかわかります。
		腹囲	○	○	内臓脂肪の蓄積の程度がわかります。
		視力	○	○	近視かどうか等がわかります。
	聴力 (1000Hz・4000Hz)	○	○	難聴の有無や程度がわかります。	
	最高血圧 (収縮期)	○	○	循環器 (心臓・血管) の異常のほか腎臓・内分泌・代謝系の異常を知る手がかりになります。	
最低血圧 (拡張期)					
脂質	総コレステロール	○	○	高値は動脈硬化を起こす原因になります。	
	空腹時中性脂肪	○	○	高値は動脈硬化を進めることにつながります。	
	HDLコレステロール	○	○	低値は動脈硬化を進めることにつながります。	
	LDLコレステロール (non-HDLコレステロール)	○	○	高値のまま放置すると、動脈硬化が進み、脳梗塞や心臓病の原因になります。	
肝機能	AST (GOT)	○	○	高値は肝炎などの肝機能障害や心筋梗塞、筋疾患などの疑いがあります。	
	ALT (GPT)	○	○		
	γ-GT (γ-GTP)	○	○	高値は飲酒による肝障害または胆道系の病変の疑いがあります。	
	ALP	○	○	高値は胆汁の排泄に障害がある疑いがあります。	
	総蛋白		○	栄養状態や肝機能、腎機能の指標になります。	
	アルブミン		○	低値は高度の肝機能障害、消化吸収障害、腎疾患の疑いがあります。	
	総ビリルビン		○	高値は肝機能障害などによる黄疸が考えられます。	
	アミラーゼ		○	膵臓などの病変がわかります。	
LDH			○	高値は肝臓、腎臓、心筋、骨格筋、脳などの病変の疑いがあります。	
代謝系	空腹時血糖	○	○	高値は糖尿病の疑いがあります。食事の影響が強いため空腹時に検査します。	
	尿糖 (半定量)	○	○	尿中の等の有無を調べます。血糖値が高い時に増えることがあります。	
	尿酸	○	○	高くなると通風、尿管結石の原因になります。	
血液一般	ヘマトクリット	○	○	低値は貧血の疑い、高値は肥満や脱水の可能性ががあります。	
	色素量	○	○	低値は鉄欠乏性貧血の疑いがあります。	
	赤血球数	○	○	高値は多血症、低値は貧血の疑いがあります。	
	白血球数	○	○	高値は感染症の疑い、非常に高値・低値は血液の病気の疑いがあります。	
	血小板数		○	低値は出血が止まりにくい症状が出る可能性があります。	
末梢血液像		○	白血病、急性感染症やアレルギー疾患などがわかります。		
尿・腎機能	尿蛋白 (半定量)	○	○	(+)以上は慢性腎臓病、ネフローゼ症候群、尿路感染症などが考えられます。	
	尿潜血	○	○	(+)以上は腎臓、尿管、膀胱などの出血が考えられます。	
	血清クレアチニン	○	○	高値は腎機能障害、前立腺肥大の疑いがあります。	
	eGFR	○	○	低値は腎機能障害の疑いがあります。	
尿沈渣		○	異常所見は尿路の出血、炎症などの疑いがあります。		
その他	胸部レントゲン	○	○	肺の病気の有無・心臓の大きさ・大血管の大きさを調べます。	
	心電図	○	○	心臓の状態をチェックし不整脈・狭心症・心筋梗塞等がないかを調べます。	
	胃部レントゲン・内視鏡検査	○	○	食道・胃・十二指腸の異常がないかを調べます。	
	便潜血反応検査 (2日法)	○	○	便中の血液の有無を調べ、消化管出血の有無を調べます。	
	眼底検査	■	○	目の病気のほか、高血圧、動脈硬化、糖尿病による病変がないかを調べます。	
	喀痰細胞診検査	◆	◆	痰の中に含まれる細胞を観察し、肺がんなどの異常な細胞がないかを調べます。	
	肺機能検査		○	慢性閉塞性肺疾患、肺気腫、気管支喘息などの有無や肺の換気機能を調べます。	
腹部超音波検査		○	肝臓、胆嚢、腎臓の異常の有無や、胆石、肝硬変、腎結石などがわかります。		
自己負担額		5,500円	8,280円		

※一般健診 (若年層向け: 20歳、25歳、30歳の方) は、便潜血反応検査 (2日法) および胃部レントゲン・内視鏡検査を実施しません。

※節目健診は受診年度において40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳の方が受診できます。

※■眼底検査は医師の判断により実施される詳細な健診項目です。自己負担額は80円です。

※◆喀痰細胞診検査は50歳以上かつ喫煙指数 (1日本数×年数) が600以上の方で希望者の検査です。自己負担額は590円です。

マンモグラフィ1方向 (50から74歳の偶数年齢)	980円
マンモグラフィ2方向 (40から48歳の偶数年齢)	1,700円
子宮頸部細胞診検査 (36から74歳の偶数年齢)	990円
HCV抗体検査、HBs抗原検査 (血液検査)	540円
骨粗鬆症検査 (40から74歳の偶数年齢)	1,110円